たった４０分でわかるDevSecOpsの必要性

～DevSecOpsを実現する文化・技術・プロセスとは～

2019年9月26日

SB C&S株式会社
佐藤和貴

SB C&S

自己紹介

SB C&S

会社：SB C&S株式会社

部署：ICT事業部 販売推進本部 技術統括部

テクニカルマーケティングセンター ビジネス開発課

氏名：佐藤 和貴 (さとう かずき)

業務内容およびミッション

・DevOpsおよびDevSevOps製品の販売支援を担当

・海外の新興系ベンダーの発掘し、日本市場での販売および普及

・新規商材についてセミナーやイベントの開催

SB C&S

たった４０分でわかるDevSecOpsの必要性

●DevOpsとは
-デジタルトランスフォーメーションによる革命
-現状のソフトウエア開発の課題

●セキュリティのボトルネック

-現状のプロセス

-人材不足

●DevSecOpsとは

-文化・技術・プロセス

-SB C&Sの取り組み

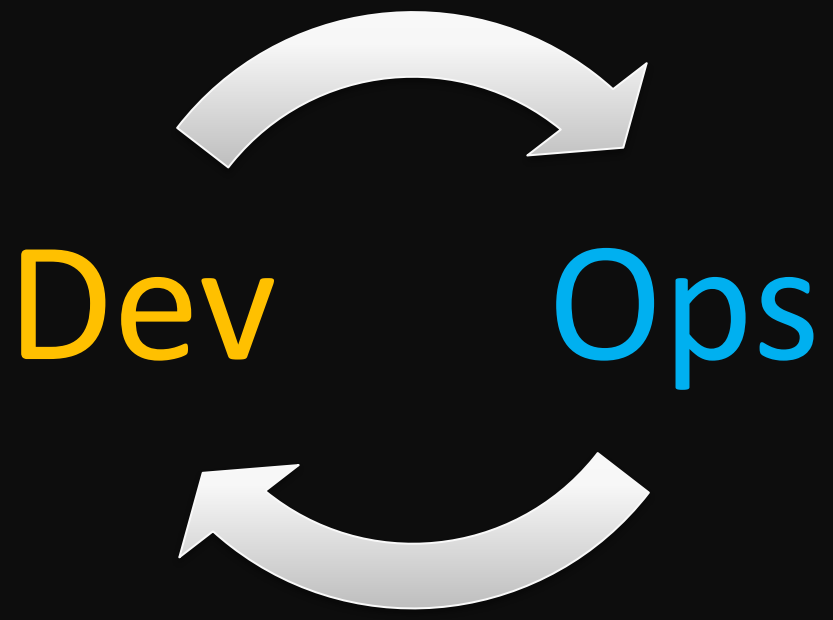
DevSecOpsとは?

DevOpsのプロセスに**セキュリティ対策**を組み込んだもの

そもそもDevOpsって何?

DevOps

開発者（Development）と運用者（Operations）が協調・連携し
ソフトウエアの開発、リリースをいち早く実施しようという
概念、取り組み



SB C&S

たった４０分でわかるDevSecOpsの必要性

●DevOpsとは
-デジタルトランスフォーメーションによる革命
-現状のソフトウエア開発の課題

●セキュリティのボトルネック
-現状のプロセス
-人材不足

●DevSecOpsとは
-文化・技術・プロセス
-SB C&Sの取り組み

デジタルトランスフォーメーションによる革命

近年デジタルテクノロジー（IoT・AIなど）を駆使し**ビジネスが変革**

↓

ビジネスの変革によって**個人の生活**や**社会構造**にまで影響がおよぶ

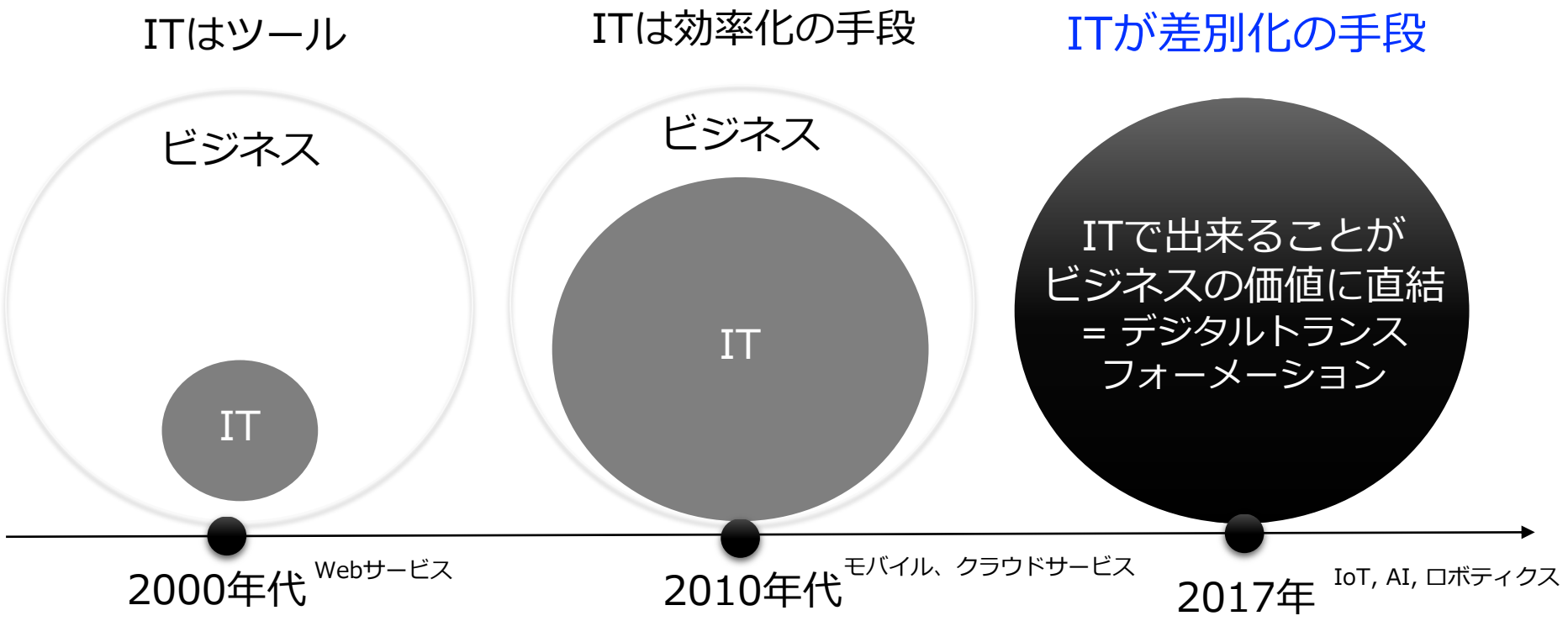
ITの果たす役割が変化

SB C&S

ビジネスの価値を最大化し続ける

⇔

時代にあった、変化に柔軟で品質の良い
ソフトウエアを開発し続けること



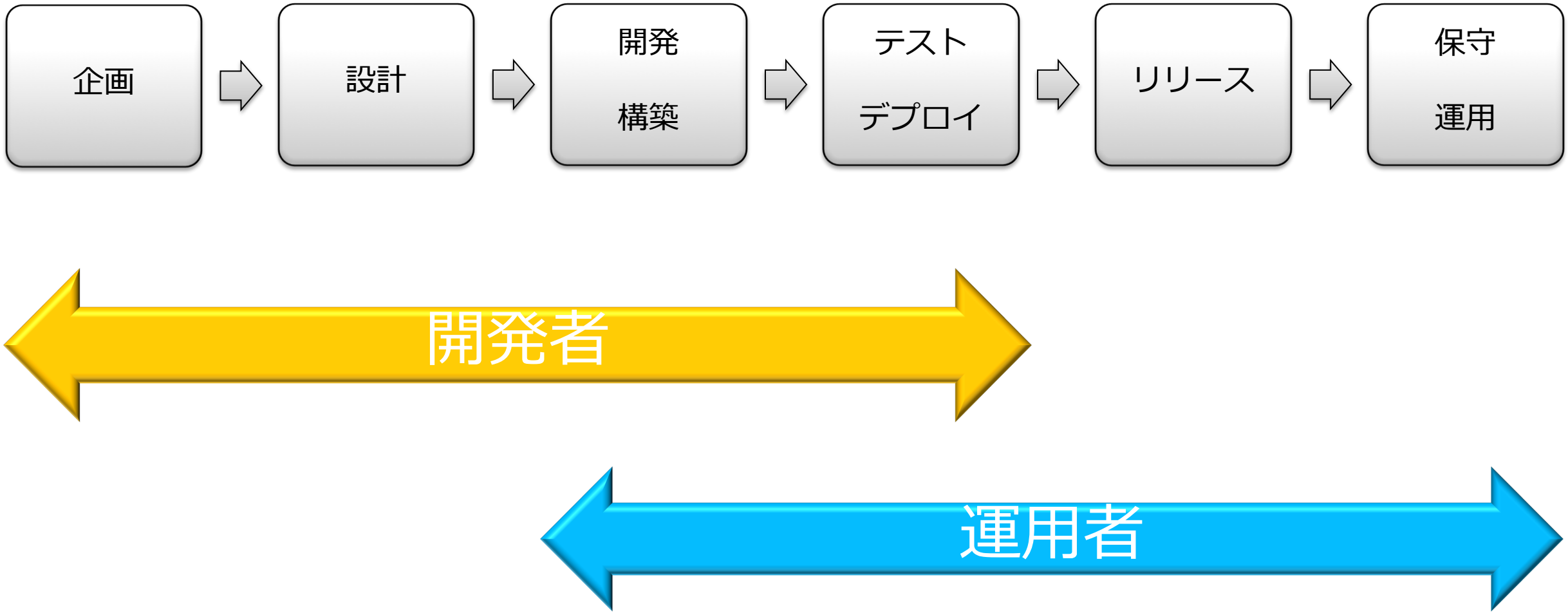
現在、さまざまなものがソフトウエア化している
デジタルトランスフォーメーションは業界を問わない

↓

いかに早くソフトウエアを開発できるかが競合との差別化

ソフトウエアがリリースされるまでの流れ

SB C&S



開発者・運用者それぞれの責務

SB C&S

開発者

急速な変化に対応し
本番環境にできるだけ早く
機能と変更を組み込みたい

VS

運用者

顧客に対し安定していて信頼できる
セキュアなサービスを提供
既存のサービスを変更したくない

アプリとサーバーをちゃんと動かすのがおまえの責任だろ。

なんでアプリをもっとちゃんとした品質で作らないんだよ。夜間コールがんがん受ける身にもなれよ。

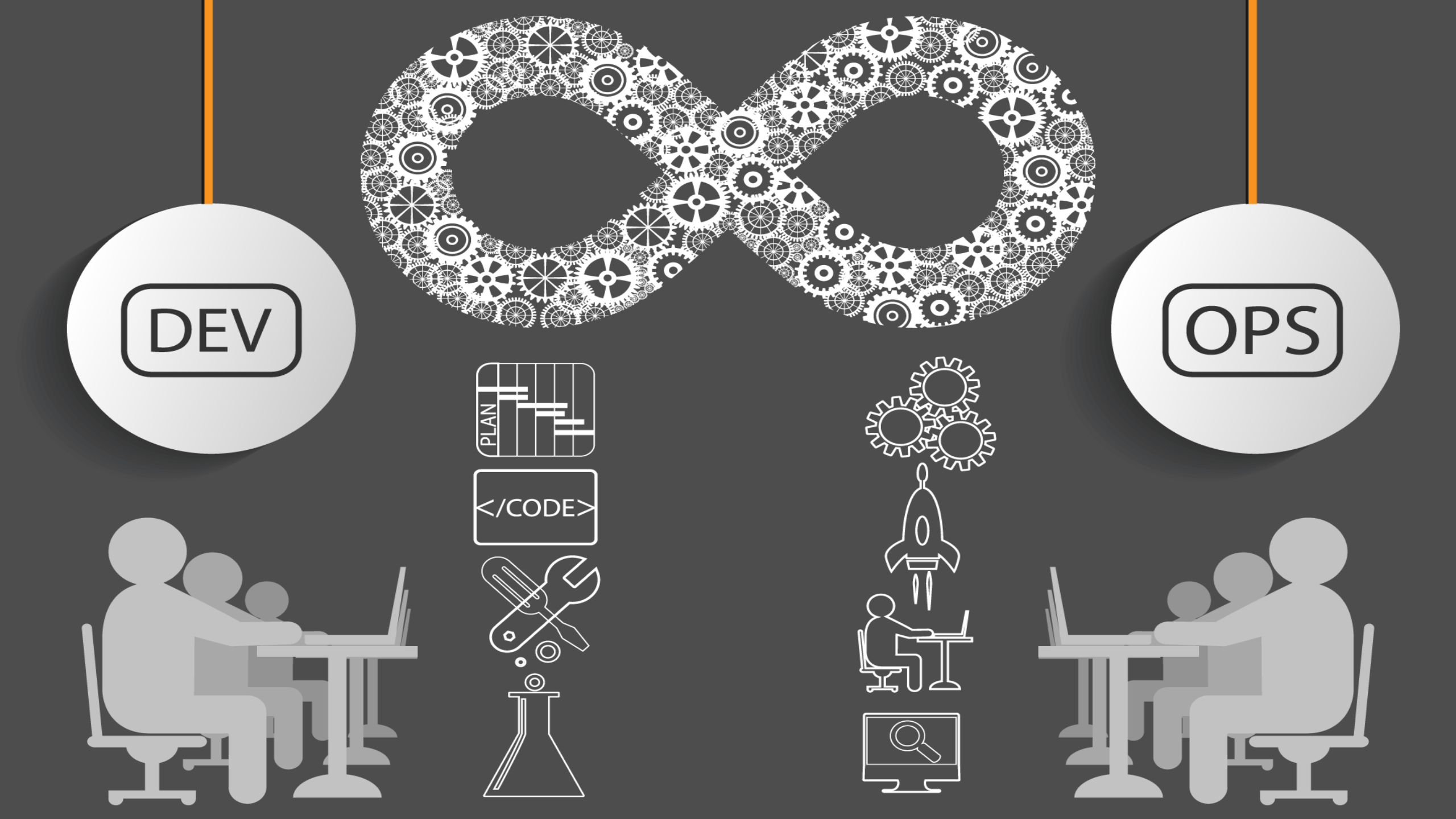
コミュニケーションを阻害

ソフトウエアリリースの迅速性を阻害

現状だと・・・
開発チームと運用チームは**縦割り組織**→開発者はソフトウエアができたら丸投げ
→**問題が起きればお互いを非難し合う**

このままではいけない

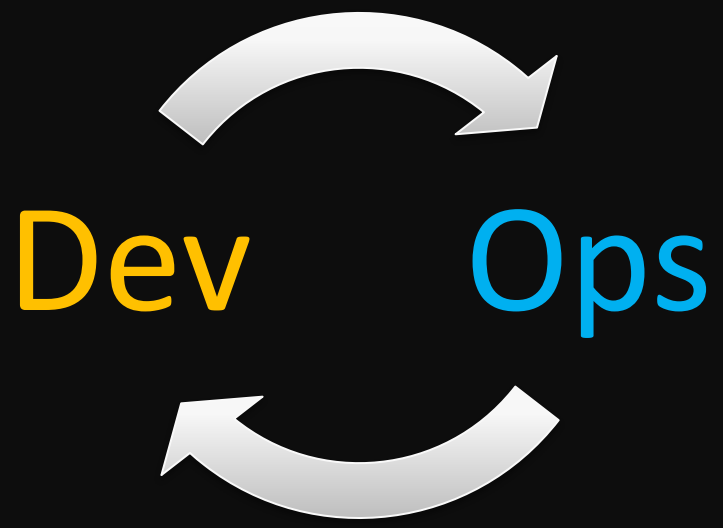
どうしたらいいのか


DEV
OPS
PLAN
</CODE>

DevOps

開発者（Development）と運用者（Operations）が協調・連携し
ソフトウエアの開発、リリースをいち早く実施しようという
概念、取り組み

- **ビジネス価値の最大化**を目的
- 組織文化・技術・プロセスを変革



※よくある誤解
DevOps＝「特定の技術や開発ツールなどを利用すること」

今まで		DevOps
縦割り組織 アウトソース	文化	**ソリューションチーム インソース**
オンプレミス 手動テスト	技術	**クラウド 自動テスト** (CI/CD、コンテナ)
ウォーターフォール開発	プロセス	**アジャイル開発**

DevOpsまとめ

SB C&S

DevOpsとは

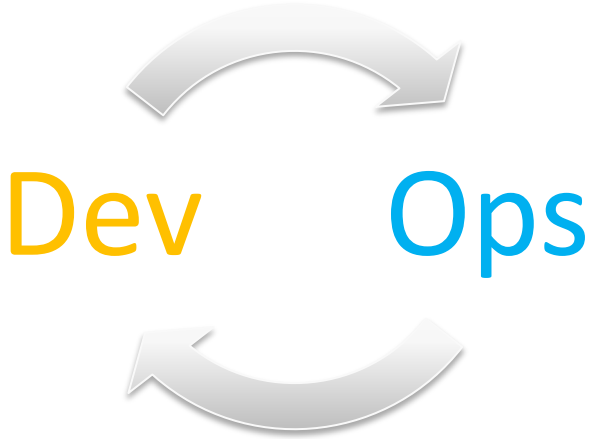
- **ビジネスの価値を最大化**することを目的とした**概念**
- **迅速**かつ**高品質**なソフトウエア開発を実践するための取り組み

効果

- 新製品、サービスをいち早くリリース=競合との差別化=**企業価値の向上**
- 変化の激しい市場にいち早く対応=**顧客満足度の向上**

成功要因

- 文化(ソリューションチーム、インソース)
- 技術(クラウド、自動テスト)
- プロセス(アジャイル開発)



何故DevSecOpsが求められるのか

SB C&S

たった４０分でわかるDevSecOpsの必要性

●DevOpsとは
-デジタルトランスフォーメーションによる革命
-現状のソフトウエア開発の課題

●セキュリティのボトルネック

-現状のプロセス

-人材不足

●DevSecOpsとは

-文化・技術・プロセス

-SB C&Sの取り組み

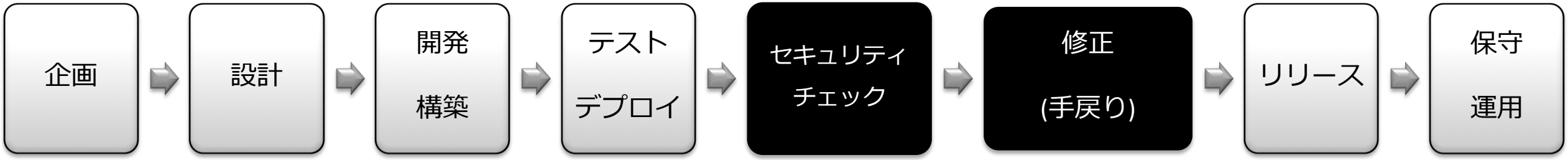
セキュリティチェックっていつやる?

セキュリティの現状

SB C&S

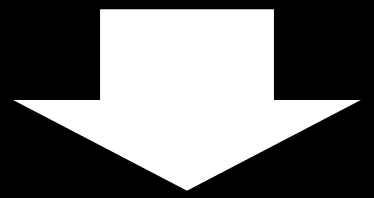
セキュリティ担当チーム

ソフトウエアのリリース**直前**に
セキュリティチェックを行う



- リリース直前での仕様変更は**大幅な手戻り**が発生
- 予定外の作業が負担になり開発者・運用者も疲弊
- **その場しのぎの対策**になりがち → セキュリティ事故を起こす危険性

DevOpsを実践してソフトウエアを
迅速に開発しても・・・



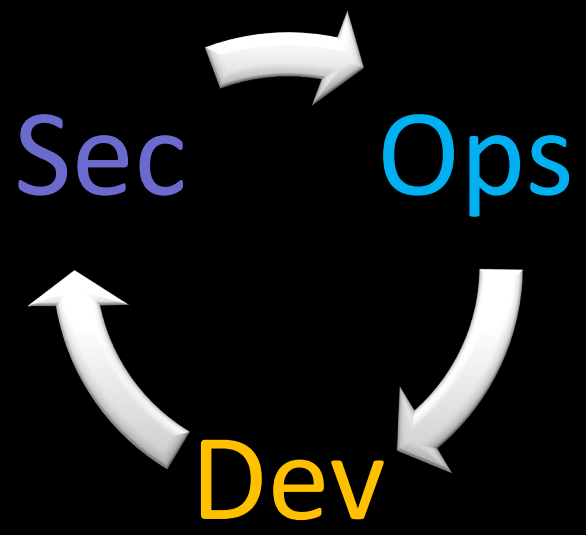
セキュリティの組み込みに時間がかかり
リリースする際の足かせになってしまう

DevSecOps

DevSecOps

開発者（Development）と運用者（Operations）と
セキュリティ担当者(Security)が協調・連携し
セキュリティを保ちつつ、ソフトウエアの開発、リリースを
いち早く行っていこうという**概念**、**取り組み**

- **セキュリティを担保**しつつ、迅速にソフトウエアをリリースすることを目的
- 組織文化・技術・プロセスを変革



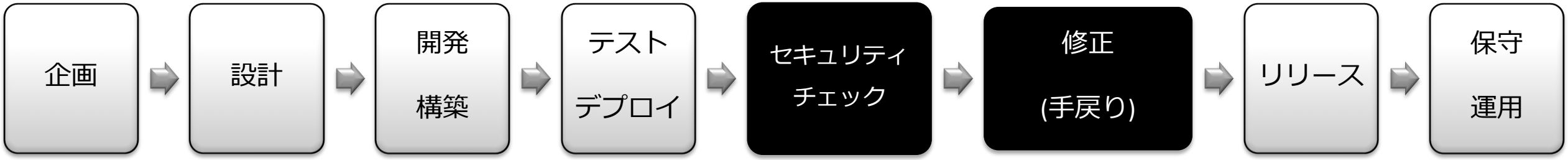
今まで		DevSecOps
セキュリティチームのみ責任を負う	文化	開発ライフサイクルに携わる**全員**がセキュリティに責任を負う
手動テスト	技術	セキュリティチェックの**自動化**
セキュリティは後付け	プロセス	**シフトレフト**

(再掲)セキュリティの現状

SB C&S

セキュリティ担当チーム

ソフトウエアのリリース**直前**に
セキュリティチェックを行う

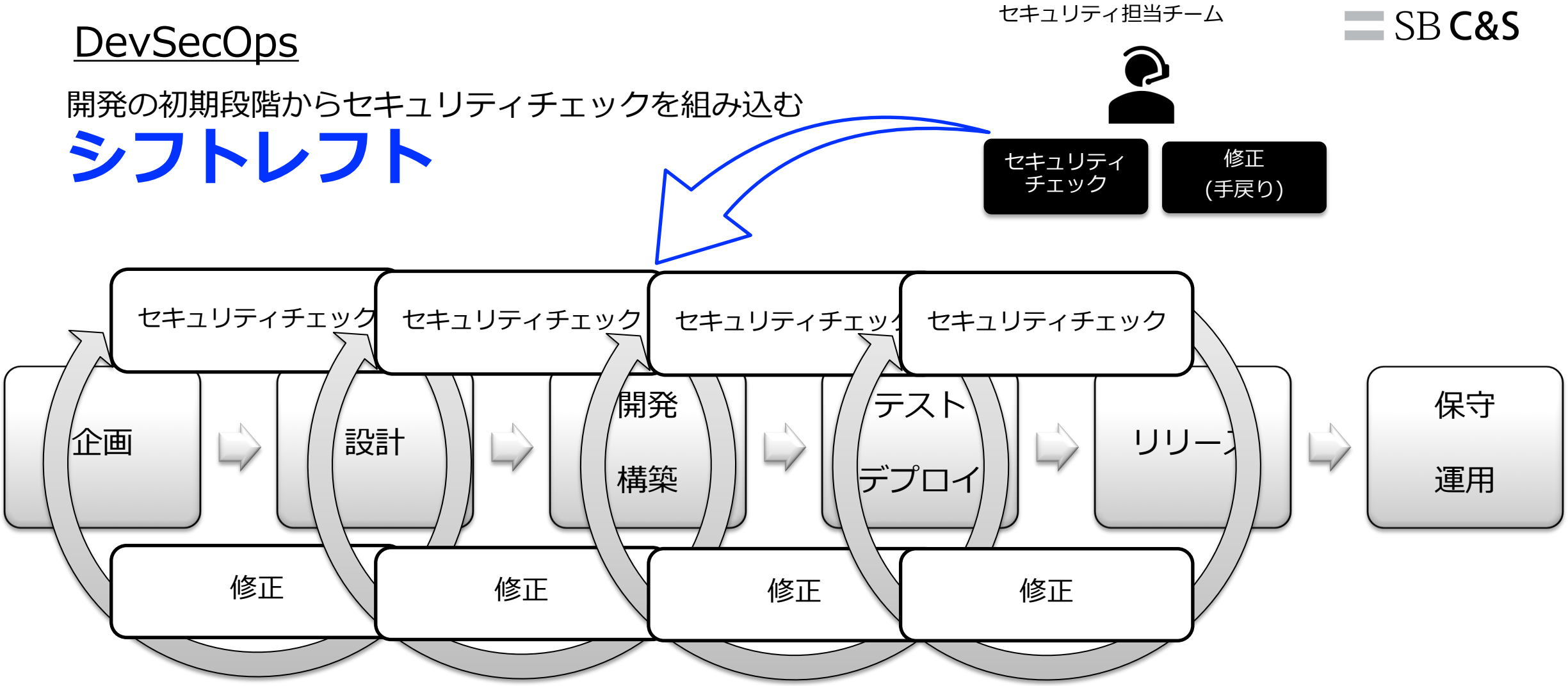


- リリース直前での仕様変更は**大幅な手戻り**が発生
- 予定外の作業が負担になり開発者・運用者も疲弊
- **その場しのぎの対策**になりがち → セキュリティ事故を起こす危険性

DevSecOps

開発の初期段階からセキュリティチェックを組み込む

シフトレフト



- **手戻りの発生が少なく**リリースまでの**スピードが向上**
- 工数の削減
- **セキュリティの質**が**向上**

DevSevOpsまとめ

SB C&S

DevSecOpsとは

- DevOpsにセキュリティのプロセスを組み込んだ概念
- 迅速、高品質かつセキュアなソフトウエア開発を実践するための取り組み

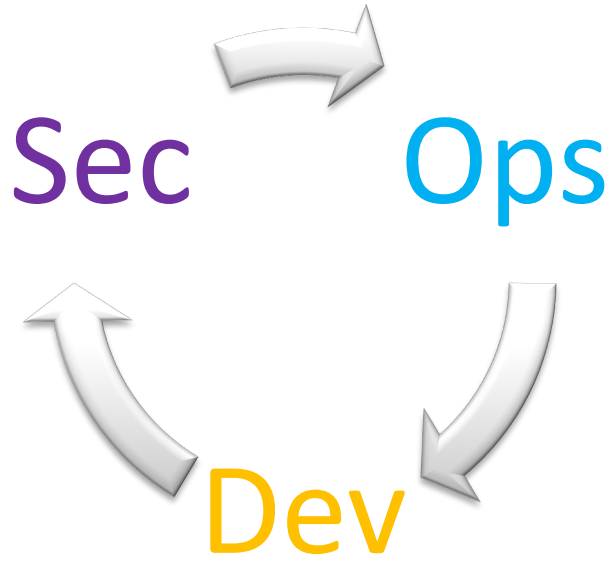
なぜ必要なのか

- 変化の激しい市場 → 高品質かつ迅速なソフトウエア開発が競合と差別化を図る上で重要

→そのためには開発スピード、クオリティ、そしてセキュリティを両立することが求められる

成功要因

- 文化(全員がセキュリティに責任を持つ)
- 技術(セキュリティチェックの自動化)
- プロセス(シフトレフト)



SB C&Sは何をやっているのか?

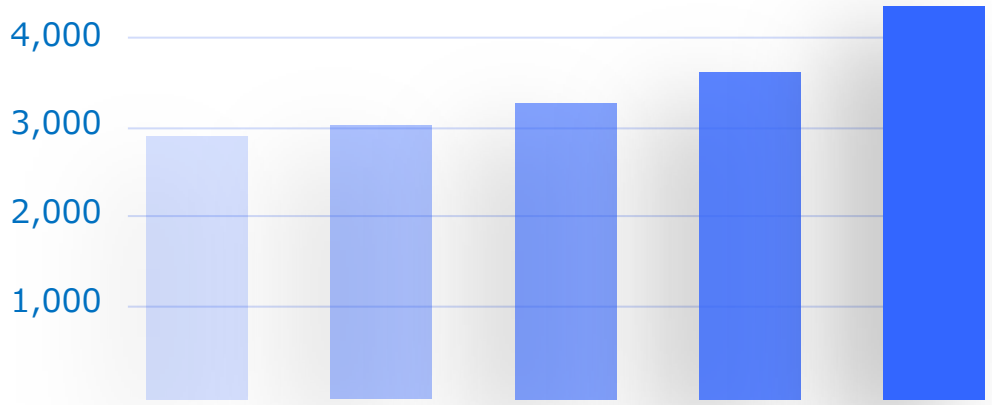
SB C&Sの位置づけ

ソフトバンク株式会社の主要セグメントの一角を担う

グループの主な事業

SoftBank

- コンシューマ
- 法人
- 流通 SB C&S
- その他



売上

4,344億円

従業員数

1,772人

※SB C&S株式会社 第5期（2019年3月期）決算公告より（日本基準 単体） ※従業員数は2019年4月現在

法人ICT事業　事業概要

幅広い商品と長年の実績で、ICT流通を支える

販売パートナー　全国 **10,000**社　**40,000**拠点

取り扱いメーカー　**4,000** 社

取り扱い商材　**400,000**点以上

（2019年4月現在）

情報革命で人々を幸せに

Information Revolution – Happiness for Everyone

SB C&S